

1. 背景

(1) 在宅人工呼吸器使用の現状

人工呼吸器のヒヤリ・ハット事例は、継続して発生し、繰り返し注意喚起されている。しかし、医療機能評価機構等の医療安全情報は医療機関における事例が主であり、在宅事例を紹介する資料は少ない。

(2) 令和6年度の取組

上記の現状から、在宅人工呼吸器での安全対策の課題を把握するため、訪問看護ステーションや在宅向け人工呼吸器販売等営業所にアンケートを実施し、ヒヤリ・ハット事例を収集した。

2. 令和7年度の取り組み

啓発動画等の作成

収集した事例の紹介及びその対策に関する啓発動画(患者、患者家族、訪問看護師向け)を作成。併せて動画とともに現場で活用可能な書類資材を作成(動画:資料2-3、書類資材:参考資料2)。

(1) 啓発動画

写真やイラスト、アニメーション効果を用いてビジュアル面を重視して作成。

「アンケート結果説明編」、「個別事例紹介編」、「参考情報編」の3構成とし、「個別事例紹介編」を更に各カテゴリーごとに分割することで、視聴希望する動画を選択できるように配慮(表1)。

個別事例紹介編について

◆ 医療機関でも発生する事例に加え、在宅で見られる事例の発生原因、防止対策を紹介。

【在宅で見られるヒヤリ・ハット事例】

例1) 電源供給不良(図1)

原因:電源タップや延長コード使用時のプラグ脱落、接続忘れ

対策:再接続時の確認 → 壁のコンセントに直接接続する

やむを得ず延長コード等を使用する場合は、接続部分を忘れないで確認する

例2) 圧力センサーチューブ・呼気弁チューブに関する事例(図2)

原因:冷暖房による回路内温度低下で生じる過剰な結露

対策:回路を過度に冷やさない → 夏場の冷房稼働時は、回路に冷風が直接当たらないよう、また冬場に暖房しない場合に回路を過度に冷やさないように注意する

その他

◆ アンケート結果説明編:令和6年度の収集結果及びまとめ等を掲載。(図3)

◆ 参考情報編:「人工呼吸器のトラブルが発生したときの訪問看護師等への連絡事項」、「災害時への備え」を掲載。

(2) チェックリスト(図4)

現場で確認が出来るよう、動画で説明した防止対策をまとめたチェックリストを作成。

(印刷しての使用を想定し、薬務課HPに掲載予定)

図1 電源供給不良事例の原因



図2 圧力センサーチューブ事例の原因



図3 アンケート結果

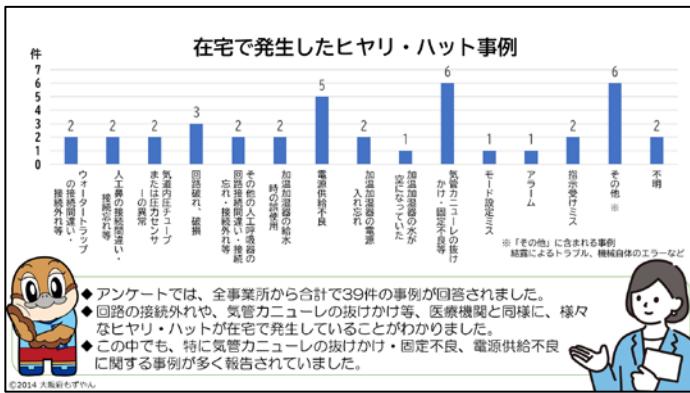


表1 動画の構成

動画の内容	参考資料2 該当ページ	動画の分割	視聴時間
はじめに	P. 2~3	アンケート結果説明編	約15分
ヒヤリ・ハットとは	P. 4~5		
在宅人工呼吸器のヒヤリ・ハット事例アンケート結果	P. 6~17		
回路の接続外れ等	P. 18~28	個別事例紹介編	約5分
ウォータートラップに関する事例	P. 29~36		約4分半
加温加湿器、人工鼻に関する事例	P. 37~51		約8分
電源供給不良に関する事例	P. 52~64		約8分
気管カニューレの抜けかけ・固定不良	P. 65~74		約5分
圧力センサーチューブまたは呼気弁チューブに関する事例	P. 75~82		約4分
まとめ(在宅人工呼吸器ヒヤリ・ハット防止チェックリスト)	P. 83~89	参考情報編	約8分半
人工呼吸器のトラブルが発生したときの訪問看護師等への連絡事項	P. 90~91		約10分
災害時への備え	P. 92~96		

3. 今後の予定

(1) 動画、書類資材を用いた啓発

動画をYouTubeにアップロード、書類資材を薬務課ホームページに掲載し、関係団体にも協力を依頼し、広く啓発を実施。

(2) 次年度の活動テーマ(案)

府内に設置されているAEDの管理状況を調査し、通知等の遵守状況等を確認。